

1 施設の操業状況について

(1) 操業状況

- ・月別搬入実績 資料1

表：対前年同月比較

	11月		12月	
	R元	R2	R元	R2
車両(日平均台)	36	37	37	36
ペット(t)	73.25	75.88	73.79	71.62
容リプラ(t)	295.55	307.05	327.54	321.86
合計(t)	368.80	382.93	401.33	393.48

→ 年末の搬入量は、年度間で大きな増減は見られなかった。

- ・年末年始の操業

操業は年末29日まで、年始は4日から

ただし、12月30日は容リプラの搬出を行った。

(2) 搬入量と処理能力の関係(第12回運営連絡会要望事項)

- ・処理能力：ペット6t/5h 容リプラ17t/5h

- ・年間操業日：(元年度)259日

∴ ペットの処理可能量(A_{pe}) = 6t × 259日 = 1,554t/年

容リプラの処理可能量(A_{pu}) = 17t × 259日 = 4,403t/年

表 搬入量と処理能力の関係

	元年度搬入量(Y t/年)	処理可能量(A t/年)	負荷率(Y/A×100)
ペット	991	1,554	63.8
容リプラ	3,848	4,403	87.4

→ 処理能力に対して、年平均ペット64%、容リプラ88%の負荷率で稼働している。

ただし、搬入量には変動があるため、ピットで貯留し投入する必要がある。

2 主な出来事について

(1) 搬入物展開検査

- ・11月16日(月)～18日(水)に予定を延期、その後中止(当面の間)

(2) 異臭の発生

- ・ 12月7日(月)手選別室で異臭(カセットボンベによるガス臭)
11:35頃 使い切る前に廃棄されたと思われるカセットボンベが破袋機により切断され、手選別室内にガス臭が充満した。設備、従業員の健康状態等異常なし。
なお、VOCの濃度の異常はなかった。

3 その他

(1) 資源化不適物除去試験の実施

(2) 電気設備点検 2月27日(土)に実施

- 委員意見「停電により脱臭装置が停止するが、その時に臭気測定をしてはどうか。」
→ 臭気測定は、夏に実施することです。すでに契約済みのため、次年度検討したい。

(3) その他情報提供(ごみ処理施設の更新計画の進捗状況)

- ・新しい不燃・粗大ごみの処理施設が令和2年4月から稼働し、旧粗大ごみ処理施設の解体・撤去工事は、12月にほぼ完了した。
- ・ごみ焼却施設の更新に向けて、3基ある焼却炉のうち、3号炉が12月をもって45年間の操業を停止した。令和3年4月から本格的な解体・撤去作業が始まる。
- ・3市35万人の可燃ごみは、新ごみ焼却施設がしゅん工する令和7年まで、残る2つの炉、4・5号炉で処理することとなる。
- ・すべての可燃ごみを処理することができないため、この期間、近隣の団体に処理を応援していただく。(応援先団体、応援量等は調整中)

4 意見交換